

# 株主通信

## 第74期期末報告書

平成18年4月1日～平成19年3月31日



株式会社加地テック

r100  
各紙配合率100%再生紙を使用

PRINTED WITH  
SOY INK

この報告書は、環境に配慮し、  
再生紙と大豆油インキを使用  
しております。

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

私は、本年6月27日の株主総会におきまして当社取締役役に選任され、その後の取締役会において代表取締役社長に指名されました小林士郎でございます。第74期期末報告書をお届けするに当たり、皆様一言ご挨拶申し上げます。

当社の100有余年に及ぶ歴史と伝統は、“ものづくり”を生業とする企業にとって最も重要な経営資源である「技術力」に裏打ちされ、現在まで脈々と社員一人一人に受け継がれてきております。当社はこの歴史と伝統に立脚し、お客様は勿論さまざまな形で協力頂いている関係者様との協力関係を基盤に、現在および将来の経営環境の変化に能動的に対応・果敢に挑戦を続けることにより持続可能な成長を実現していく企業を目指します。

第74期は市場動向が必ずしも当社にとり好ましいとは言えない状況下、目標に近い収益を確保すると共に受注高を順調に伸ばすことができました。今年度は平成21年3月期を最終年度とする第4次中期(3ヵ年)経営計画の中間の年にあたりますが、今年度目標の純利益3億円を確実に達成すると共に、平成21年3月期の目標達成とその後の更なる飛躍に向け社員・役員一同刻苦奮励、経営課題の克服に取り組んでいく所存であります。

株主の皆様におかれましてはこれまでも増してご支援賜りますようお願い申し上げます。

平成19年6月

代表取締役社長  
小林 士郎



## 【事業の経過および成果】

当期における日本経済は高成長を背景とした東南アジア向け輸出が景気を牽引、また国内の設備投資も拡大する中、企業収益は好調を維持し、平成18年11月には戦後最長のいざなぎ景気(57ヶ月)を更新しました。日本銀行は景気の緩やかな拡大と消費者物価のプラス基調を受け、平成18年7月にゼロ金利政策を解除し、また平成19年2月には追加利上げを実施するなど、日本経済は着実に健全な状況になってきております。

このような状況のもと、当社の当期の受注高は7,506百万円で前年同期比1,586百万円(+26.8%)と大幅に増加しました。内訳は圧縮機部門が5,441百万円で前年同期比358百万円(+7.1%)の増、繊維機械他が2,064百万円で前年同期比1,227百万円(+146.8%)の増となりました。圧縮機部門においてはペットボトル成形用圧縮機が伸び悩んだものの、石油化学プラント用圧縮機が好調に推移しました。また繊維機械部門では中国向けのグラスファイバー用撚糸機が大幅に増加いたしました。

当期末受注残高は3,639百万円で前年同期末比2,264百万円(+164.7%)の増、内訳は圧縮機部門が2,084百万円で前年同期末比935百万円(+81.4%)の増、繊維機械他が1,554百万円で前年同期末比1,328百万円(+588.7%)の増となりました。

売上高は5,241百万円で前年同期比1,107百万円(△17.4%)の減、内訳は圧縮機部門がペットボトル成形用圧縮機の落込み等で4,506百万円、前年同期比625百万円(△12.2%)の減、繊維機械他は中国向けグラスファイバー用撚糸機が前年の反動もあり735百万円、前年同期比482百万円(△39.6%)の減となりました。

利益面では営業利益で415百万円、前年同期比15百万円の増、経常利益は422百万円、前年同期比14百万円の増、当期純利益は245百万円、前年同期比10百万円の減となりました。

## トピックス

### 【今後の見通し】

当社は平成21年3月期を最終年度とする第4次中期経営計画を策定いたしました。最終年度の計画数値は売上高70億円、経常利益6億円、純利益3.5億円であります。

計画2年目の平成20年3月期は石油化学プラント用圧縮機や特殊ガス用圧縮機等、当社の技術力をフルに生かし業績拡大に向け努力いたします。

平成20年3月期は、売上高7,300百万円、営業利益520百万円、経常利益520百万円、当期純利益300百万円を見込んでおります。

### 【対処すべき課題】

企業を取り巻く経済環境は、中国の強い需要を背景とした鋼材・非鉄金属価格の高騰、将来の円高進展に伴う輸出の伸びの鈍化懸念、設備投資の一服感による伸びの低下懸念等、諸々の不透明要因があります。このような経済環境のもと、当社は原材料の調達見直しやさらなる生産効率の向上を図り安定した収益力を維持できるよう努めてまいります。また、水素ガス・天然ガス等可燃ガスの超高压圧縮機、環境関連機械等の研究開発・販売拡大には一層の経営資源を注いでまいります。

今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 【大阪府庁前水素ステーション向けに40MPa水素ガス超高压圧縮機を受注】

当社は、財団法人エンジニアリング振興協会が推進する「水素・燃料電池実証プロジェクト」の一環として、大阪府庁前に建設予定の水素ステーション向け40MPa（400気圧）の水素ガス超高压圧縮機を受注しました。

燃料電池自動車は水素と酸素との電気化学的反応による電力で走行する自動車です。排出されるのが水だけであるため究極のエコ・カーと言われております。

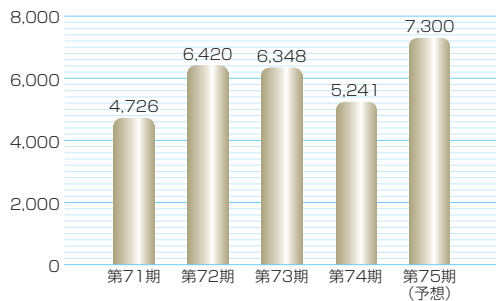
燃料電池自動車の走行距離を伸ばすためには車載容器に充填する水素の圧力を上げることが必要ですが、当社は110MPa（1100気圧）まで昇圧可能な空冷・レシプロ・全段ピストン・オイルレスタイプの水素ガス超高压圧縮機を平成16年に世界で初めて開発し、日本自動車研究所（茨城県つくば市）に納入しました。今回の受注は天然ガス自動車向けエコ・ステーション用圧縮機（250気圧）における圧倒的な納入実績に加え、水素ガス超高压圧縮機の実績が出来たことにより、当社の技術力が高く評価され、実現したものです。

21世紀は「環境の世紀」と言われています。当社は、来るべき水素時代に向けた水素関連のみならず、環境関連機器の研究・開発に一層の経営資源を投入していきます。

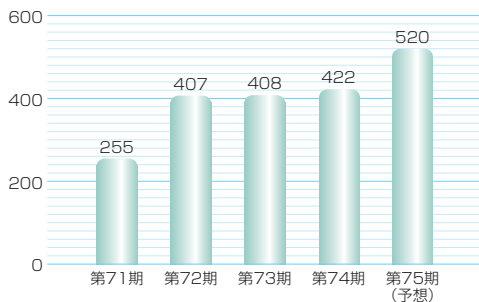


# 業績ハイライト

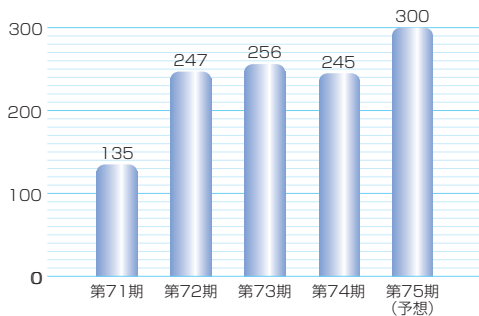
## ■ 売上高 (単位：百万円)



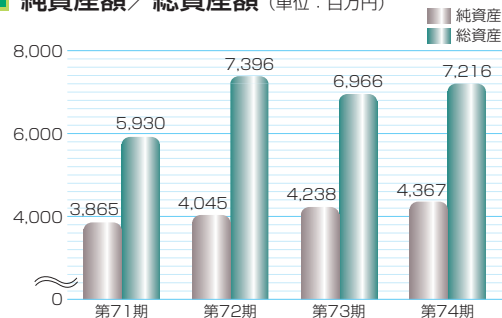
## ■ 経常利益 (単位：百万円)



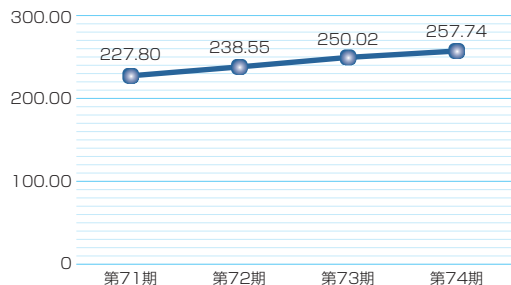
## ■ 当期純利益 (単位：百万円)



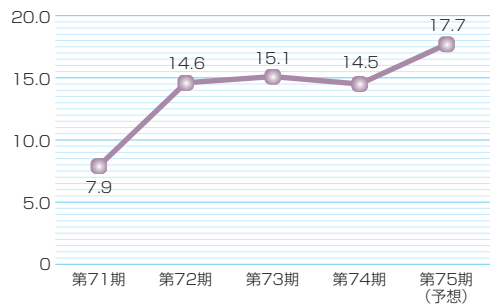
## ■ 純資産額／総資産額 (単位：百万円)



## ■ 1株当たり純資産額 (単位：円)



## ■ 1株当たり当期純利益 (単位：円)



# 貸借対照表 (平成19年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		金 額
科 目		
流 動 資 産		
現金預金		476,850
受取手形		496,221
売掛金		2,505,989
製品		70,646
仕掛品		1,434,868
材料貯蔵品		296,000
預け金		400,000
繰延税金資産		125,403
その他の流動資産		66,288
貸倒引当金		△ 9,100
流動資産合計		5,863,168
固 定 資 産		
有形固定資産		
建物		144,004
構築物		31,021
機械装置		159,441
車両運搬具		1,010
工具器具備品		26,855
土地		447,525
計		809,858
無形固定資産		
ソフトウェア		1,227
電話加入権		2,879
計		4,107
投資その他の資産		
投資有価証券		262,478
繰延税金資産		200,116
その他の投資		80,520
貸倒引当金		△ 3,957
計		539,157
固定資産合計		1,353,123
資産合計		7,216,292

(単位：千円)

負 債 の 部		金 額
科 目		
流 動 負 債		
支払手形		1,034,519
買掛金		477,764
短期借入金		205,000
未払金		31,542
未払法人税等		126,696
未払費用		167,616
前受金		119,868
賞与引当金		137,500
その他の流動負債		21,058
流動負債合計		2,321,566
固 定 負 債		
長期借入金		7,500
退職給付引当金		453,793
役員退職引当金		65,622
固定負債合計		526,916
負債合計		2,848,483
純 資 産 の 部		
株 主 資 本		
資本金		1,440,000
資本剰余金		1,203,008
資本準備金		1,203,008
利益剰余金		141,600
利益準備金		
その他利益剰余金		625,000
別途積立金		965,845
繰越利益剰余金		1,590,845
その他利益剰余金合計		1,732,445
利益剰余金合計		△ 37,732
自己株式		4,337,721
株主資本合計		
評価・換算差額等		30,087
その他有価証券評価差額金		30,087
評価・換算差額等合計		30,087
純資産合計		4,367,808
負債・純資産合計		7,216,292

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 2,457,319千円  
 2. 国庫補助金等の受入による有形固定資産（機械装置、構築物、工具器具備品）の圧縮累計額は、130,596千円であります。  
 3. 重要なリース資産  
 貸借対照表に計上した固定資産のほか、技術用電子機器および事務機器の一部、その他についてリース契約により使用しております。

4. 担保に提供している資産 有形固定資産185,830千円  
 5. 当事業年度末日満期手形の会計処理について  
 当事業年度末日が金融機関の休業日のため、当事業年度末日が満期の手形は、手形交換日をもって、決済処理をしております。なお、当事業年度末日満期の受取手形は、67,016千円であります。

## 損益計算書 (平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額
売 上 高	5,241,377
売 上 原 価	3,997,698
売 上 総 利 益	1,243,678
販売費及び一般管理費	828,520
営 業 利 益	415,158
営 業 外 収 益	17,079
営 業 外 費 用	9,503
経 常 利 益	422,734
税 引 前 当 期 純 利 益	422,734
法人税、住民税及び事業税	193,074
法 人 税 等 調 整 額	△ 16,198
当 期 純 利 益	245,857

(注) 1株当たり当期純利益(期中平均発行株式数による) 14円50銭

## 株主資本等変動計算書 (平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(単位：千円)

	株 主 資 本		
	資 本 金	資 本 剰 余 金	
		資 本 準 備 金	資 本 剰 余 金 合 計
平成18年3月31日残高	1,440,000	1,203,008	1,203,008
当事業年度中の変動額			
剰余金の配当	—	—	—
当期純利益	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	—	—	—
当事業年度中の変動額合計	—	—	—
平成19年3月31日残高	1,440,000	1,203,008	1,203,008

	株 主 資 本					株主資本合計
	利益剰余金				自己株式	
	利 益 準 備 金	そ の 他 利 益 剰 余 金	別 途 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金		
平成18年3月31日残高	141,600	625,000	821,706	1,588,306	△35,641	4,195,673
当事業年度中の変動額						
剰余金の配当	—	—	△101,718	△101,718	—	△101,718
当期純利益	—	—	245,857	245,857	—	245,857
自己株式の取得	—	—	—	—	△ 2,090	△ 2,090
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—
当事業年度中の変動額合計	—	—	144,138	144,138	△ 2,090	142,048
平成19年3月31日残高	141,600	625,000	965,845	1,732,445	△37,732	4,337,721

	評 価 ・ 換 算 差 額 等		純 資 産 合 計
	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	
平成18年3月31日残高	43,010	43,010	4,238,683
当事業年度中の変動額			
剰余金の配当	—	—	△101,718
当期純利益	—	—	245,857
自己株式の取得	—	—	△ 2,090
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	△ 12,923	△ 12,923	△ 12,923
当事業年度中の変動額合計	△ 12,923	△ 12,923	129,124
平成19年3月31日残高	30,087	30,087	4,367,808

## キャッシュ・フロー計算書(要旨) (平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(単位：千円)

営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 23,642
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 24,361
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 113,745
現金及び現金同等物の期末残高	876,850

## 会社の概要

**社名** 株式会社加地テック  
KAJI TECHNOLOGY CORPORATION  
**創立** 明治38年5月（1905年）  
**会社設立** 昭和9年2月（1934年）  
**資本金** 14億4,000万円（大阪証券取引所第二部上場）  
**製造品目** 空気及びガス圧縮機

水冷・空冷式圧縮機  
給油・オイルフリー・オイルレスタイプ圧縮機  
石油化学・産業ガス用  
電力・試験・一般産業用  
ペットボトルブロー成形用  
天然ガス自動車燃料充填用  
燃料電池自動車燃料充填用  
各種ガス回収精製装置

### 繊維機械

タイヤコード用撚糸機  
グラスファイバー用撚糸機  
産業資材用撚糸機

**所在地** **本社・工場**  
〒587-0064 大阪府堺市美原区菩提6番地  
TEL：072-361-0881（代表）  
FAX：072-362-4491（総務部）

**東京支社**  
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2丁目20番15号  
高田馬場アクセス3F  
TEL：03-3232-2651（代表）  
FAX：03-3232-2650

**大阪支店**  
〒541-0053 大阪市中央区本町2丁目5番7号  
大阪丸紅ビル13F  
TEL：06-6264-8600（代表）  
FAX：06-6264-8604

**サービスセンター**  
〒275-0023 千葉県習志野市芝園2丁目2番6号  
TEL：047-452-7660（代表）  
FAX：047-452-7666

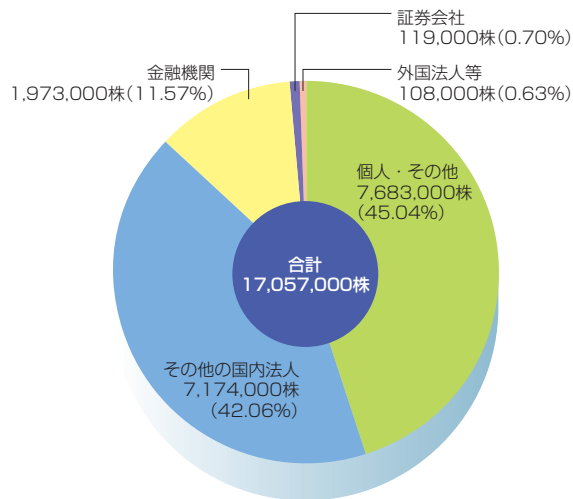
## 株主の状況

### 【大株主の状況】

株主名	持株数
丸紅株式会社	6,330千株
株式会社みずほ銀行	508
株式会社神戸製鋼所	500
加地取引先持株会	396
大阪証券金融株式会社	345
みずほ信託銀行株式会社	303
株式会社近畿大阪銀行	200
株式会社三菱東京UFJ銀行	200
東京海上日動火災保険株式会社	183
松原佐多子	176

（注）当社は、自己株式233,453株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。

### 【所有者別株式の分布状況】



（注）上記株式数には、単元未満株式123,000株は含まれておりません。

## 役員 (平成19年6月27日現在)

## 株主メモ

役職	氏名	担当
代表取締役社長	小林 士郎	
常務取締役	山末 三	第一生産部長兼第二生産部長兼技術部担当役員
常務取締役	小野 俊一	東京支社長兼大阪支店・織維機械室担当役員
取締役	石野 開	サービス部長兼サービスセンター担当役員
取締役	横浜 淳司	総務部長兼経理部長
取締役	伊藤 芳輝	技術部長
取締役	岩澤 勇三	東京営業部長
取締役	佐野 靖宏	
取締役	蔵元 正隆	
常勤監査役	安本 郁夫	
監査役	藤原 一雄	
監査役	新井 光司	
監査役	上野 正夫	

- (注) 1. 佐野靖宏氏、蔵元正隆氏は会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。  
 2. 新井光司氏、上野正夫氏は会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
上場証券取引所	大阪証券取引所市場第二部
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付及び 電話お問合せ先	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-288-324(フリーダイヤル)
同取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインバスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
基準日	定時株主総会 毎年3月31日
単元株式数	1,000株
公告方法	電子公告(当社ホームページに掲載) [アドレス] <a href="http://www.kajitech.com">http://www.kajitech.com</a> ただし、事故その他やむをえない事由 によって電子公告による公告をすることが できない場合は、日本経済新聞に 掲載する方法により行います。